

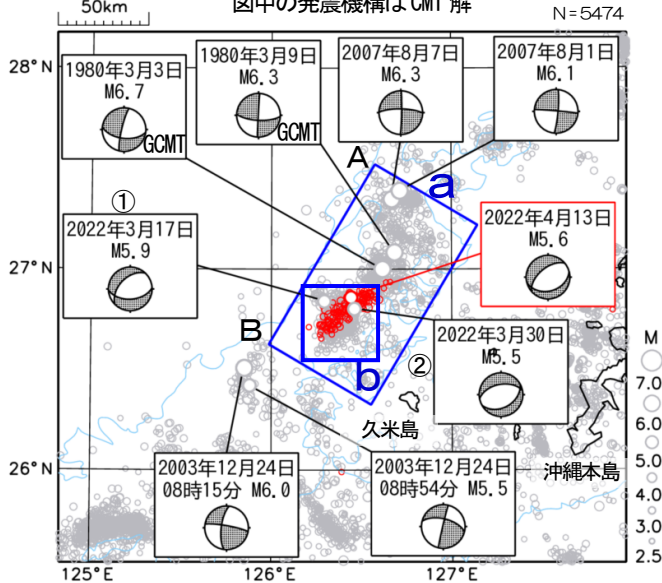
沖縄本島北西沖の地震活動

震央分布図

(1980年1月1日～2022年4月30日、
深さ0km～60km、M≥2.5)

2022年4月の地震を赤色で表示

図中の発震機構はCMT解

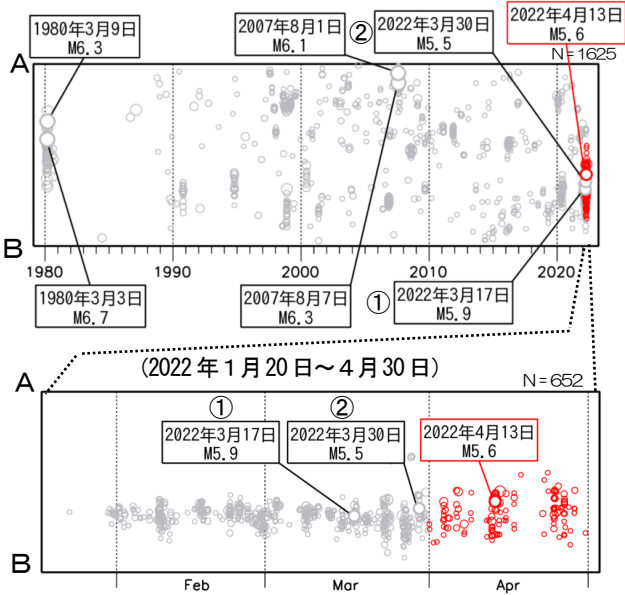


図中の青色の等値線は水深1500mを示す。

※1980年3月3日および3月9日の地震の発震機構はGlobal CMT

領域a内の時空間分布図 (A-B投影)

(1980年1月1日～2022年4月30日)



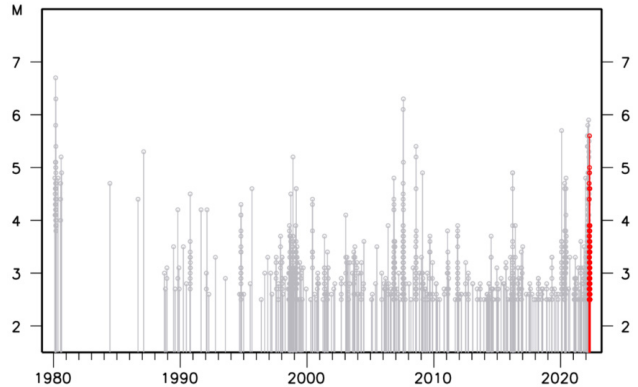
沖縄本島北西沖では、2022年1月30日から地震活動が活発になり、4月中もその傾向は継続している。この地震活動により、4月に震度1以上を観測する地震が16回 (震度2：4回、震度1：12回) 発生した。2022年4月中の最大規模の地震は、13日10時22分に発生したM5.6の地震 (最大震度2) であった。この地震の発震機構 (CMT解) は、北北西-南南東方向に張力軸を持つ正断層型であった。

なお、活動の全期間を通じて、最大規模の地震は3月17日に発生したM5.9の地震 (最大震度2、図中①)、最大震度を観測した地震は3月30日のM5.5の地震 (最大震度3、図中②)、であった。この地震活動は、沖縄トラフの活動で陸のプレート内で発生している。

1980年1月以降の活動をみると、今回の震央周辺 (領域a) では、M5.0以上を最大規模とした地震活動が時々みられる。1980年2月から3月にかけて活発化した際には、同年3月3日にM6.7の地震 (最大震度3) が発生した。

領域a内のM-T図

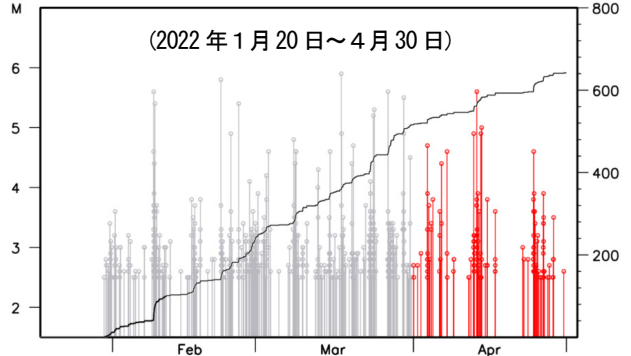
N=1625



(この期間の検知能力は低い)

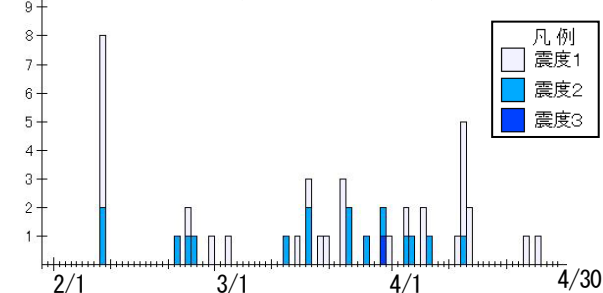
領域b内のM-T図及び回数積算図

N=647



震度1以上の日別最大震度別地震回数図

(2022年1月30日～2022年4月30日)



震度1以上の最大震度別地震回数表

(2022年1月30日～2022年4月30日)

月別	最大震度別回数			震度1以上を 観測した回数	
	震度1	震度2	震度3	回数	累計
1月30、31日	0	0	0	0	0
2月1日～28日	8	5	0	13	13
3月1日～31日	9	7	1	17	30
4月1日～30日	12	4	0	16	46
総計	29	16	1		46